

第63回試験研究成果発表会_作物（落花生）発表概要

【動画配信期間】 令和8年3月27日（金）～令和9年1月5日（火）

【場 所】 YouTube「千葉県公式セミナーチャンネル」

発表1 成果発表

落花生の安定生産に向けて

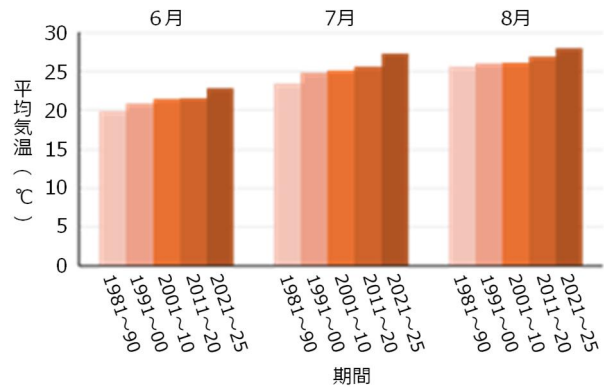
近年の夏の高温・乾燥が落花生の生育及び収量に与える影響

落花生研究室 菅原諒一

落花生の収穫量は、その年の天候によって大きく変わります。近年は気温が高くなる傾向があり、特に夏の高温が落花生の生育に影響を及ぼしています。そこで、「千葉半立」、「ナカテユタカ」、「Qなつつ」、「おおまさりネオ」の4品種について、過去数年間の気象条件と生育・収量の関係を調査しました。本発表では、夏の高温による落花生の生育の変化や、栽培上の注意点を紹介します。



主要4品種の莢実（左から、千葉半立、ナカテユタカ、Qなつつ、おおまさりネオ）



1981年から2025年までの平均気温の推移
(アメダス佐倉)

発表2 成果発表

落花生の安定生産に向けて

ゆで豆用落花生品種「おおまさりネオ」の収量を高めるために

落花生研究室 青柳伸之介

極大粒落花生「おおまさりネオ」は、従来の「おおまさり」と比べ主要病害に強く、株がコンパクトで収穫時の作業性が改善された品種です。一方、高温乾燥条件下では、「おおまさり」と比べ子実の充実不良が生じやすく、収量が劣ることがあります。そこで、「おおまさりネオ」の収量を高めるための栽培方法を紹介いたします。



正常な莢（左）と空莢（右）



スプリンクラーによる灌水

発表3 成果発表

落花生の安定生産に向けて

生分解マルチの使用が「おおまさりネオ」の生育・収量に及ぼす影響

落花生研究室 青柳伸之介

千葉県における落花生栽培では、雑草の発生を抑え、初期生育を促進するために、ポリマルチが一般的に使用されています。ポリマルチ栽培では、子房柄が地面に刺さる前に、マルチを除去する必要がありますが、この作業は気温の高い7月頃に行うことが多く、身体的にも負担のかかる作業です。そこで、マルチの除去作業が不要な生分解マルチを用いて「おおまさりネオ」を栽培し、慣行のポリマルチ栽培と生育、収量を比較したので、その結果をご紹介します。



崩壊前の生分解マルチ
(落花生開花期頃)



崩壊した生分解マルチ
(落花生収穫時)

発表4 成果発表

落花生の安定生産に向けて

「おおまさりネオ」を早期出荷するための栽培方法

落花生研究室 青柳伸之介

ゆで豆用落花生「おおまさりネオ」は既存の早生品種「郷の香」と比べ、莢や子実が極めて大きいだけでなく、食味にも優れ、需要の高い品種です。一方、早晩性は晩生のため、「郷の香」と比べ収穫時期が遅くなります。そこで、播種直後からのべたがけにより、「おおまさりネオ」の早期出荷を可能にする栽培方法を明らかにしたので、紹介します。



「郷の香」(左)と「おおまさりネオ」(右)



圃場におけるべたがけの様子